



大荒れ9月議会は裏面で特集

- ✓教育委員会が「不適切な公文書」を作成
- ✓特定会派のみに「事前説明」の実態
- ✓ルール無視の議会運営は認められない!
- ✓最終日は議長不信任決議vs信任決議の争い

## 01 はなバスをもっと便利に！9月議会の質問から

現在、はなバスの運行には年間1億2千万円前後の運行補助金が市から出されています（過去3年間実績）。要するに赤字の穴埋めをしているのです。そのため、「運賃・ルートの見直し」に向けた検討が行われています。  
私は、はなバスは交通不便地域の住民にとって貴重な足であることから、**運賃に手をつけるのは最終的な手段にすべき**とした上で、より便利にするための提案をしました。

- ①降りたいところで降りられるフリー降車制の導入
- ②よりわかりやすく、使いやすい等間隔ダイヤの実現

①は渋谷駅を発着する東急系の「代官山循環バス」の一部区間など、都内でも実施例があります。住宅街の一部区間だけでもフリー降車ができれば買い物帰りなど非常に便利になります。  
②は各地のコミュニティバスで軒並み実施されています。はなバスも一部路線・時間帯は等間隔ですが、まだまだです。

また、今年3月の報告書では採算性の低い課題区間の今後について「運行本数の適正化」という言葉が出てきますが、ただでさえ1時間に1本程度の課題区間でさらに減便すれば逆効果です。この夏実証実験が行われた**タクシーによる移動支援のような他手段も含め、移動の足をどう確保するか検討すべき**です。



降りるだけでもできれば…（第4南ルートの沿道）



## 02 高校生が見た「市議会議員のオシゴト」

この夏、2名の高校生を研修生として受け入れました。市議会のしくみの説明、本会議・委員会の傍聴、両庁舎をはじめ西原総合教育施設や住吉会館など市内の施設見学を行いました。高校生からは郷土資料室の来室者を増やすための提案をしてもらったり、8月に開設された子ども相談室（ほっとルーム）で職員から備品についてのアドバイスを求められるなど、私にとっても職員にとってもいい刺激になる体験でした。1日から受け入れますので、興味のある方はぜひご連絡を。



西東京市議会議員 田村ひろゆき

2018年12月初当選。無所属1期目。1978年7月西東京市向台町生まれ。上向台小、田無第一中、中央大学杉並高、中央大学法学部政治学科卒。元旅行会社社員、武蔵野大学職員、衆院議員秘書。議員インターンシップの運営を柱に若者の政治参加を進める活動に20年関わってきました。政治を少しでも身近に感じてもらえるよう、取り組んでまいります。

- ☎ 090-9686-4581
- ✉ info@tamura-h.net
- 🏠 http://tamura-h.net
- 🐦 @tamura\_\_h(アンダーバー2つ)
- 📘 @tamurahiroyuki.nishitokyo



# <特集> 大荒れ 9月議会 その裏側

9月議会大荒れの最大の原因は、教育委員会が作成した「不適切な公文書」。平成30年度の教育委員会の事務に関する報告書ができたので議会に提出しますという、教育長から議長宛の文書の中に、「**なお、自民党、公明党の方々には事前説明の際にお配りしております**」と書かれていたのです。

文書の日付は9月5日。しかし、自民党・公明党の議員は9月3日・4日に事前説明を受け、資料を受け取っていました。その他の議員には9月6日に机上配布されただけ。**市長応援会派の議員と、その他の議員で差別的な扱いがされていた**のです。当然、自公以外の議員が猛反発。一方の自公側も「説明は我々が求めたのではない。勝手に政党名を書かれて迷惑だ」と反発する事態になりました。

9月18日の本会議では、自民党と、自公以外の議員がそれぞれ市長や教育長に対する問責決議の提案を予定していました。しかし、**この日の議長の進行は公平・公正とは言い難いもの**でした。

本会議冒頭、自民党の稲垣議員、立憲フォーラムの森しんいち議員が同時に「動議！」と声を上げましたが、田中議長は稲垣議員を指名します。動議が競合した場合、市議会会議規則には「他の事件に先立って表決に付さなければならない動議が競合したときは、議長が表決の順序を決める」とあります。議長は順序を決めてよいのですが、順序を決めるためには内容を聞かなければなりません。しかし、森しんいち議員の動議は内容すら聞かれなかったのです。

また、このような動議により議事日程にない議案を追加する場合は、休憩を取り、議会運営委員会に諮るのがこれまでのやり方です。ところが、議長は休憩を取らず、議運も開かず議事を進め、さらには、本来行われる討論(賛成・反対の理由を述べる場)を飛ばして採決してしまったのです。

このため、「**なぜ討論がなかったのか」「なぜ同時に提出された動議が無視されたのか**」と発言が相次ぎ本会議はストップ。休憩中、何度も議長側に**ルール無視の議会運営を改めよ**と訴えますが、「採決は終わった」「動議は一つずつ処理していこうと思った」といった平行線の回答が続きました。

議会運営は適切だとする自民党側は「一事不再議」という原則を持ち出します。議会で一度議決されたことは、再び審議できないという原則です。しかし、だからといって議長の議会運営が免罪されるものではありません。議長は就任時、「一人一人を尊重した、公平・公正な議会運営」を約束しました。当日の様子は録画で見られますので、ぜひ市議会HPから見ていただきたいと思います。



本会議最終日9月30日、無所属の森てるお議員が議長不信任決議を提出。私も賛成者に名を連ねました。自民党の保谷なおみ議員はこれに対抗して信任決議(右写真)を提出。このような場合は信任決議を優先して審議します。

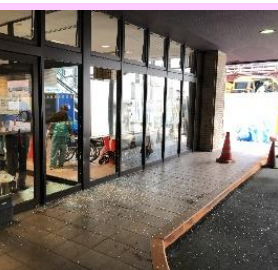
この信任決議に対し、「**どこが適切なのか」「静寂で秩序も保たれていたというのは嘘ではないか**」と質問が出ますが、「**見解の相違**」といった答弁が繰り返され、納得できないとの声が上がります。それでも議長に代わって議長席に着いた副議長が、横に座る事務局長の「助け」を得て議事を進行しようとしたため議場は混乱、騒然としました。

数度の休憩の後、討論・採決が行われました。私もこの信任決議に反対(すなわち不信任)の立場から討論を行いました。9月18日の具体的な議事の状況を指摘して議長を不信任とする理由を述べた上で、**大切なことはこの決議の結果ではなく、この後の議長が、公平・公正な議会運営をすること、公平・公正でない疑念を抱かれるような議会運営をしないこと、そして、二度とこのような信任・不信任を問うような決議が提出されることのない西東京市議会になること**だと述べました。今回のような混乱で議会がストップすることは、市民にとっては全くプラスになりません。このような事態が、最初で最後であることを願います。

結果、信任決議は自民・公明の賛成多数で可決。反対は無所属4名と生活者ネット2名の計6名。共産、立憲は退席しました。

田中のりあき議長に対する信任決議

議長は本定例会の会議において、稲垣議員の動議を取り上げてから採決にいたる場面において、適切な議会運営を行っていたと認識します。  
また、その場面において、議場はいたって静寂な中で秩序も保たれていたとも認識します。  
よって議長を信任すべきであると、ここに表明します。



9月5日には田無庁舎に庁舎間連絡バスが突っ込みガラスを割る事故も。けが人がいなかったのが不幸中の幸いですが、万が一近くに人がいたら大惨事になる可能性もありました。

## 活動報告

HPでも日々発信中!

いいね! 西東京



7/8~朝の挨拶運動 8/5-6 三多摩議員ネット学習会

8/9 多摩市議会を視察

## 「議会トーク」にご参加を! 10/30(木)と11/9(土)

恒例の議会報告会「議会トーク」は下記日程で開催します。  
日時 ①10月31日(木) 19時~21時 ②11月9日(土) 14時~16時  
会場 コール田無 4階 会議室B ※駐車場の用意はありません  
申し込み不要ですが、メール等で連絡いただけるとありがたい人数把握になり助かります(当日ふらっと現れても全く問題ありません!)



編集後記

10月11月の週末は市内各地でイベントラッシュ。私もできるだけ参加して、楽しみたいなどと思っています。お天気に恵まれますように。